

令和7年3月

保護者の皆様

地域の皆様

世田谷区立瀬田小学校

学校長　日高　玲子

前年度の改善方策について実行した改善結果

前年度の改善方策の結果について次の通り御報告します。

1. 学習指導について

【方策】

- ・学校だよりの内容の充実とより一層の情報発信を行い、学校公開での学習の取組や研究発表の様子を多くの方に参観していただく。
- ・観察授業や研究授業の事前・事後等の授業を全教員に公開し、授業力向上を図る。

【結果】

- ・学校公開には、前年度より多くの保護者・地域の方が参観してくださり、アンケートにも児童や教職員に対する温かいコメントが多く寄せられた。
- ・令和6年2月に行った世小研の研究発表会で全学級が授業を公開。協議会では参加者と「主体的な児童の育成」について、語り合うことができた。

2. 生活指導について

【方策】

- ・毎月の生活目標について、ロイロノートを活用し、毎週各学級で確認する。
- ・瀬田小学校「学校のやくそく」「おもいやり5か条」を学年・学級の取組に生かす。
- ・道徳や特別活動の授業を通し、集団生活でのルールやマナーの順守について考えを深めていく。

【結果】

- ・生活目標について、毎週の確認は行ったが、全体的に定着するまでには至らなかった。
- ・「学校の約束」の確認はある程度浸透したが、「おもいやり5か条」は来年度、道徳や特別活動等の授業でも取りあげながら、更に具体的に示していきたい。

3. 学校行事について

【方策】

- ・令和4年度より、瀬田スポーツフェスティバルは、学び舎である瀬田中学校の校庭を使用し、開催。令和5年3学期より、始業前の朝遊びも開放していただき、児童の運動量の確保につながっている。
- ・次年度は、学校生活の時程を見直す。給食の時間を繰り上げ、昼休は瀬田中学校の校庭遊びを実施する。

【結果】

- ・瀬田中学校、地域の方々から多大なる協力をいただくことができた。引き続き継続できるよう、学び舎の連携を深めていく。

4. キャリア教育について

【方策】

- ・総合的な学習の時間、道徳、特別活動等の授業を通し、自分自身の生き方について深く考える機会を積み重ねていくとともに、日常の学習の中での「振り返り」を大事にし、主体的な学びにつなげていく。
- ・クラブ、委員会、縦わり班活動等の異学年交流を通し、協働のよさに触れる機会を増やす。
- ・高学年の中学校の授業や部活動見学、本校の学校行事に中学生ボランティアの参加を通して、身近な存在から将来を思い描く機会を増やす。

【結果】

- ・どの授業でも「振り返り」を大切にしてきたが、体験的な学習が少なく、キャリア教育の充実には至っていない。学校外での体験活動や様々なゲストティーチャーからの学びにより多様な考え方、生き方に振れる機会を一層大切にしていく必要がある。

5. 教職員について

【方策】

- ・児童の悩みを担任が、一人で抱えるのではなく、生活指導や特別支援、教育相談等について、様々な委員会で児童の状況を全教職員で共有している。児童にも、どの先生（スクールカウンセラーも含め）に相談してもよいことを様々な場面で伝え、安心して学校生活が送れるよう配慮する。

【結果】

- ・児童・保護者共に、前年度より、スクールカウンセラーへの相談が増え、垣根が低くなっていると考える。担任だけでなく、学年、管理職等、悩みを話せる大人がたくさんいることを今後もしっかりと伝えていく。

6. 学校全般について

【方策】

- ・校舎改築中のため、空き教室の確保が難しい状況ではあるが、各教室が一人ひとりにとって安心できる場所であるよう、今後も学級経営の改善・向上に努める。
- ・保健室や相談室、校長室等の別室で一時的にクールダウンし、自分のペースを取り戻せるよう支援する。

【結果】

- ・仮校舎で少しでも快適に過ごせるよう、教職員が話し合い、取り組んだことにより、児童に大きな事故なく、前向きに学校生活を送ることができた。保健室や校長室、相談室等、別室でのクールダウンも一定の成果を見ることができた。

7. 学校からの情報提供について

【方策】

- ・学校だよりの内容の充実とより一層の情報発信を行い、折に触れ、学び舎の取組についてお伝えしていく。

【結果】

- ・6月から学校だよりの規格を一部変更し、毎月、全学年からのお知らせを盛り込むことで、どの学年の様子も保護者に伝わるようになった。学び舎の取組については、年間で2回、巻頭言で触れる程度に留まった。

8. 学校運営について

【方策】

- ・年度初めの保護者会にて、校長の経営方針を示し、丁寧に説明するとともに、毎月の学校だよりで学校の取組について紹介する。
- ・学校評価関係者アンケートの協力について、広く周知するとともに、リマインドを重ね、

回収率を上げる。

【結果】

- ・学校経営方針を丁寧に伝え、毎月の学校だよりに「学校運営委員会」の内容を簡潔に示すようにした。
- ・学校関係者アンケートの協力について、学校だよりで複数回周知、すぐーるでのリマインドにより、回収率が大幅にアップした。

9. 学校と家庭の連携について

【方策】

- ・毎月のPTA運営委員会に管理職が参加し、PTA活動の取組や課題について共有する。
- ・毎月の学校運営委員会で地域に向けて情報を提供し、学校行事や地域行事のサポートを依頼する。

【結果】

- ・PTAの取組を地域の方々に理解していただき、瀬田スポ等、行事の運営で、多大なサポートをいただくことができた。

10. 地域との連携について

【方策】

- ・毎月の学校だよりに「学校運営委員会報告」の欄を設け内容を簡潔に掲載する。

【結果】

- ・「学校運営委員会」の活動について、広くご理解をいただくことができた。

11. 学校の安全性について

【方策】

- ・改築工事の定例会議で確認した内容を学校運営委員会で報告、共有する。
- ・水害時、震災時について、地域と連携し、避難訓練を開催する。
- ・学校の避難訓練では、第二避難所への避難や引き渡し訓練において瀬田中学校で実施する。

【結果】

- ・無事に新校舎の完成まで至ることができた。校庭の完成の令和8年秋まで、引き続き、瀬田中学校と連携の上、中学校の校庭を借用し、避難訓練を実施する。

12. 本校の独自目標について

【方策】

- ・児童同士のトラブルは、両者の話を聞き、寄り添い、他者とのよりよい関わり方について考える機会ととらえ、児童、保護者に丁寧に対応する。
- ・学校行事に限らず、おやじの会や地域行事への積極的な参加を呼びかけ、協働して学んだり楽しんだりする体験を重ねることで、互いのよさを知り尊重する姿勢を育んでいく。

【結果】

- ・全教職員が児童、保護者、地域との丁寧な関わりを意識し、よりよい瀬田小学校をともに築く主体者であることを主に行事を通して実感することができた。

13. まとめ

【方策】

- ・学校評価関係者アンケートの協力について、1学期（6月）、2学期（10月）の学校だよりにて協力依頼をかけ、締め切り間際まで「すぐーる」での周知、リマインドを重ね回収率の向上に努める。

【結果】

- ・回収率は大きくアップした。今後も継続できるよう努めていく。